

# 平成 18 年度中野区健康危機管理模擬訓練

## 1 . 日時及び場所

- ・日時：平成 18 年 12 月 13 日（水） 午前 10 時～12 時
- ・場所：中野区保健所（講堂、駐車場等）

2 . 目的： 本年 6 月に指定感染症に指定されたインフルエンザ（H5N1）の海外からの輸入例に対して、感染者を早期に発見し適切な防疫措置等を講ずることにより、感染拡大を防止する。

3 . 内容： 中野区内でインフルエンザ（H5N1）の要観察例（\* 1）が発生したことを想定した訓練を行う。

- ・防護服の着脱訓練
- ・陰圧テント（\* 2）を使用したトリアージ訓練
- ・陰圧アイソレーター（\* 3）による隔離搬送訓練

## 4 . 参加者：

- ・中野区健康危機管理対策本部構成員
- ・保健福祉部経営担当、各保健福祉センター、中野区保健所職員
- ・中野区医師会、中野区薬剤師会
- ・佼成病院、慈生会病院、中野総合病院 等

（\* 1）要観察例：38 以上の発熱及び急性呼吸器症状があり、かつ、10 日以内にインフルエンザ（H5N1）の感染源との接触歴を有する者

（\* 2）陰圧テント：野外救急医療システムの一環として開発されたテント。壁面及び床面が一体構造で、高い機密性が保たれ、テント内部が陰圧となっているため、病原体が外部へ拡散しない構造となっている。テント内部の空気は、細菌やウイルス等の微生物を取り除くことができる HEPA フィルター（\*）を通した後、外へ排気される仕組み。テントの展開・収納に要する時間は短時間で、持ち運びも容易である。

\* HEPA フィルター：0.15  $\mu$ m 以上の粒子を 99.97% ブロックするフィルター

（\* 3）陰圧アイソレーター：感染症患者を安全に隔離搬送するためのもので、アクリル製ケースとビニール製バッグがある。今回使用するのはビニール製バッグ。収容バッグ内の空気は、フィルターを通して強制排気され、バッグ内部を陰圧に保つことで病原体の拡散を防ぐ。重量が約 2.5kg と軽量・小型で、収納・保管が容易。